

プレーパーク事業について(検討状況等)

本事業は、区制施行70周年記念事業のひとつとされており、この事業のあり方について、調査検討するため、本年4月に庁内の関係部局で構成する「プレーパーク事業検討委員会」を設置したところである。

現在の検討状況等は以下のとおり。

<プレーパークとは>

- 別名「冒険遊び場」とも呼ばれている。一般の公園に比べて、雑然とした原っぱといったごく自然な印象があるところに特徴がある。
- プレーリーダーとして、見守り役(大人・青少年)を置き、子ども達の好奇心や欲求を大切にす。
- 子どもたちのやりたいことをできる限り実現させることで子どもたち自身が、工夫すること、仲間と協力すること、失敗や成功を繰り返しながら生きる知恵等を体得することを目指す。

<候補地>

- 「JR 宿舎跡地及び池袋本町公園」の一部に開設する。
 - ・池袋本町1-41・42 4070㎡(JR 宿舎跡地)
 - ・池袋本町1-29 1915㎡(JR 宿舎跡地)
 - ・池袋本町1-27 6147㎡(池袋本町公園)

<運営体制>

- 地元に運営組織等を創設し、自主管理体制も視野に入れて検討をすすめる。
- プレーリーダーの常駐等を検討する。

<今後のスケジュール>

- 7月 区民参加の手法として、ワークショップに係る区民委員を公募する。
(7/5号、7/15号)
- 8月 ワークショップを立ち上げる。
 - ・事業検討委員会に附属させる。
 - ・会議体を「おとな会議」と「子ども会議」に分けて設置する。
 - ・具体的な場所の選定、事業の基本スキーム、開設後の運営母体のあり方、利用規則の検討等を所掌する。
- 9月 事業検討委員会開催、場所決定等

プレーパーク事業について(検討状況等)

1. 区民ワークショップの運営

- プレーパーク事業検討委員会に附属させる。
- 会議体を「おとな会議」と「子ども会議」に分けて設置する。
- 具体的な場所の選定、事業の基本スキーム、開設後の運営母体のあり方、利用規則の検討等を所掌する。

	おとな会議(32人)	子ども会議(22人)
準備会	8/6(金)「遊びを考える」	8/6(金)「遊びを考える」
	8/22(木)プレーパーク体験	8/22(木)プレーパーク体験
第1回	8/26(月)進め方・顔合わせ	
	8/27(木)プレーパーク体験	8/27(木)プレーパーク体験
第2回	9/7(土)見学のまとめ 候補地見学	9/7(土)見学のまとめ候補地見学
第3回	9/12(木) 1日プレーパークについて	10/9(水) 予定 1日プレーパークに向けて
第4回	9/25(水)1日プレーパークについて	

2. 1日プレーパークの実施

<日時> 10月13日(日) 午前10時から午後3時
<場所> 池袋本町1-41 4070㎡(JR宿舎跡地)

<目的>

- 「子どもの遊び」から大人が学ぶ
- プレーパーク初体験

<環境整備>

- 雑草はそのままにしておく。
- 子どもの発想を大切に、想定される遊びに応じた道具類を予め用意しておく。
- なべ類は町会の物を借りる。

<プレーリーダー> 大人会議のメンバー

3. 住民説明会の経緯

7/12(金) 区政連絡会(11地区)
7/17(水) 防災まちづくりの会・防災ひろばの会
7/28(日) 防災まちづくりの会・防災ひろばの会
8/5(月) 防災まちづくりの会・防災ひろばの会
8/6(火) 育成委員会第11地区会長、池袋2小・文成小PTA会長
8/19(月) 育成委員会第11地区会長、池袋2小・文成小PTA会長
9/21(土) 池袋2小PTA
9/30(日) 文成小PTA

プレーパーク事業について(検討状況等)

1. 区民ワークショップでの協議内容

(1) 用地・場所

○4,000㎡で開設する(子ども会議も同意見)。2,000㎡も視野に入れる。

【4,000㎡】

- ・プレーパークとして最低限必要なスペースである。「火」や「水」も使用できる。
- ・地形に高低差があり、遊びの拡がりを生む。

【2,000㎡】

- ・子どもの意見として「より広いところ」という意見がある。
- ・自転車置き場としても利用できる。

(2) 開催日・時間

○土曜日・日曜日と平日2日の週4回開催する。

【土曜日・日曜日】

- ・親子で利用できる。

【平日】

- ・子どもの放課後の居場所になる。
- *長期休暇中は別途設定する。

(3) 運営母体

○「本町プレーパークの会(仮称)」を設置する。

【機能】

- ・プレーパーク運営の意思決定機関。行政との連絡機関。

【構成】

- ・区民主体の会。
- ・現ワークショップ委員・地域の団体(青少年育成委員)・公募等

(4) プレーリーダー

○プレーリーダーを置く。

【有償プレーリーダー】

- ・新たなリーダーを育成する。
- ・子どもの遊びを見守ったり、指導したりする。

【サブリーダー】

- ・遊びの見守り役。
- ・サブリーダー主体の見守り役へシフトすることが期待できる。

2. 今後の方針

(1) 池袋本町地区(JR宿舎跡地)において15年度中の開設(暫定)を目指す。

(2) 地域住民による事業運営を目指す。

プレーパークの進捗状況等について

本事業は、子どもの健全育成事業の一環として、本区にできるプレーパークの第1号である。また、区と区民の協働事業として、運営については、地元区民中心のワークショップのもとで開設準備に向けて鋭意検討を進めている。

1. プレーパークのねらい

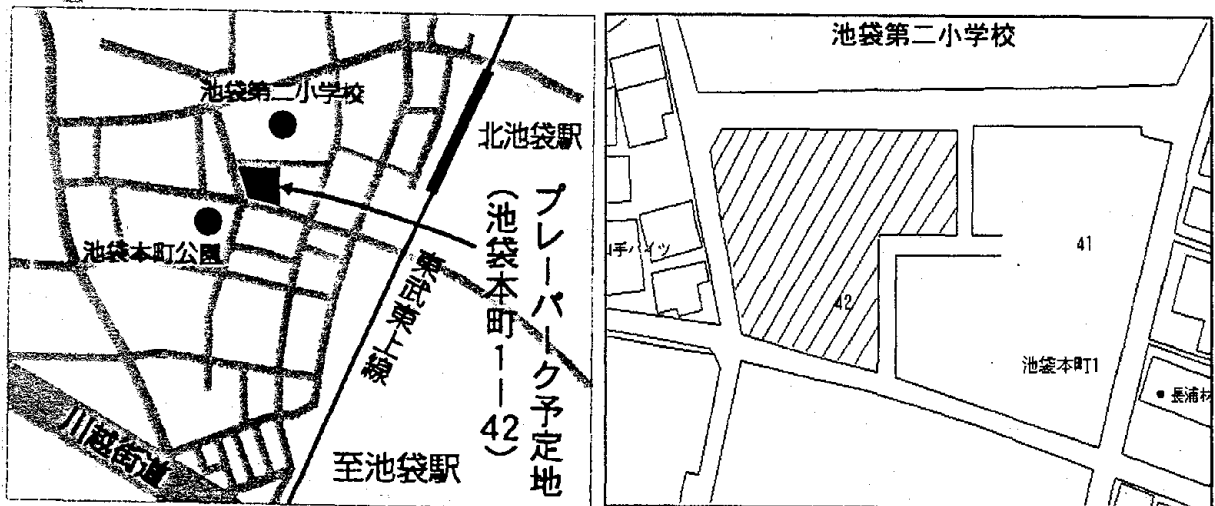
- 別名「冒険遊び場」とも呼ばれている。自己責任のもとで自由に遊べる空間として区民の自主的な管理運営を目指す。
- 子どもの権利である自由な遊び場を保障し、子ども本来の想像力を育むことを目指す。
- 子どもも大人も共に成長できる「共育の場」を目指す。

2. 運営等

- 区民主体の自主的な運営組織として、本町プレーパークの会（仮称）を設ける。
- プレーリーダー、サブリーダーを置き、遊びの見守り、支援を行う。

3. 開設場所及び敷地の使用範囲

池袋本町1-41・42の4070㎡（JR宿舎跡地）の西側部分を中心に事業を展開し、東側部分の利用は、関係団体と調整する。



4. 開所式

平成15年8月22日（金）10:00～

5. 開設日

水・金曜日 14:00～17:00
土・日・祝祭日 10:00～17:00